

市議会の各会派を紹介します！



議会の意思は、多数決により決定します。議員の考え方を効果的に市政に反映させるために、市政に関する考え方を同じくする議員が集まり会派がつくられています。

現在、多摩市議会には7つの会派があります。

新政会

日頃より地域の活動や、お祭りなどの伝統行事に積極的に関わり、地域の皆さんとの交流を通して地域の抱える問題を捉え、問題解決に取り組んでいます。

また勉強会にも積極的に参加し、市政はもちろん、都政や国政についても見識を深め、議員としてのレベルアップに努めています。

議長を出す最大会派として、安定した議会運営に努めると共に、都政、国政との太いパイプを活かし、市民の皆さまの抱える問題解決に取り組んでまいります！



前列：左から、いいじま、松田、きりき
後列：左から、石山、山崎、藤條

公明党

人と人のつながりが希薄化する中、コロナ禍が追い打ちをかけ、地域でも、孤独や孤立の問題が顕在化しています。だからこそ、政治がもっとお一人おひとりに寄り添い、声を伺い、具体的な政策を通じて、後押しをしなければなりません。

公明党は一貫して小さな声に耳を傾けてまいりました。立党精神である「大衆とともに」を胸に、現場第一主義をモットーに全力で市民の皆様のために働いてまいります。



左から、渡辺、池田、三階、本間、あらたに

日本共産党

私たちの仕事は、一言で言えば、市民お一人おひとりが「健康で文化的な」生活をおくれるようにすることです。その方法は、大きく分けて2つあります。

1つは、多摩市、東京都、そして国の法令や制度を改革していくことです。一般質問や質疑など議会での論戦を通じて、市民に役立つしくみづくりに励んでいます。もう1つは、市民の困りごとと解決です。一緒に市役所の窓口にも出かけ、解決するまで働きかけます。



パルテノン多摩大ホール前で。
左から、小林、橋本、板橋、安斉、大くま

フェアな市政

立憲民主党2名と政党に所属しない2名の議員で構成していますが、「政党に所属するしないに関わらず、一人ひとりがまずは地域で暮らす一員」であることを強く意識し、議会活動に取り組んでいます。将来を見据える「あれもこれも」と市政運営に大風呂敷を広げることはできないからこそ、市民と共にまっとうに、フェアな議論を積み重ね、子どもたちの未来に責任のあるまちづくりを考えていきたいと思っています。



左から、折戸、大野、しらた、岩永

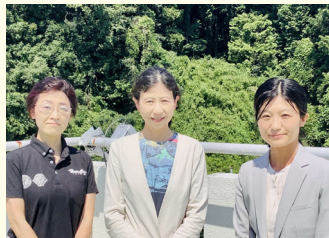
ネット・社民の会

私たちは女性3人の会派です。生活者ネットワーク2名と社民党1名です。

私たちは人権・環境を何よりも重視しています。その視点で市や都・国の政策を見つ、市政に反映し改善する努力をしています。

コロナ禍3年目、ロシアの軍事侵攻などにより声が出しにくい、弱い立場の人たちのくらしの困窮、子どもたちの心の深いところの傷つきに対し、今まで以上に強い危機感を持っています。

常に、市民の皆さんからの声を大切に、共に考え、行動します。



左から、いぢち、岩崎、岸田

壮士の会

私たち壮士の会は、党派に属さない無所属議員です。

1. 活力あふれる多摩市。
2. 未来を担う子どもたちの笑顔を守る。
3. 一人ひとりの個性が大切にされる社会。

を基本理念として、市民生活に関する身近な問題から将来のまちづくりまで、市民の皆さんの声を原点に課題解決に取り組んでいます。



左から、斎藤、しのづか

志政会

政治の原点は市民生活にあり。皆様と共に安心の未来づくりを進めます。3年間の議長経験を活かして、より公正で公平な政治を買きます。



藤原